

外観はグローバコモン3の中でもスタイリッシュな表情をもっており、入る前から期待が膨らんだ。

中に入ると、床がガラスになっておりその下にブルーとエメラルドグリーンを加えたような色の水が揺らめき、天井に映りこんでいる室内全体は幻想的な空間に感じる様にした。そのフロアーには代官山のプラダの側面に使用されているひし形のガラスの実物大が一つ置かれていた。建物を見たときより大き印象を受け、その一つだけでも存在感があり、透明感ある繊細な建築物とは違って、逆にがっしりした力強さを感じた。

奥に行くと「踊るサテュロス」をライトアップし、360度フルに天井・壁を使い遠近法を用いた陰の演出は音楽と共に狭い空間を広くし、展示物を存在感ある大きなもののように感じさせるインスタレーションであった。

さらに奥に行くと、大きなオープンスペースにさまざまな作品が置かれており、チョコレートで作られた車やお洒落な椅子、模型などが置かれてあり興味をそそられた。中でもカラフルな布で身をまとわれた人形に目を惹かれた。人形(裸体)のようであり、体に服を身にまとっている人間にも見え、創作物であるがゆえに体型のよさが際立ち、ファッションの別世界のようにであった。

そして、最後にフロアーの外周の空間がニクイ演出のように感じ、シャッターを押してしまった。)

